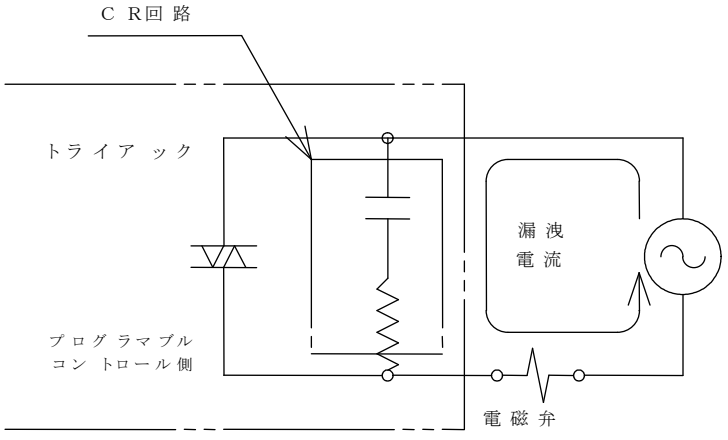
2．4 配線方法

⚠ 注意	電気配線を実施する場合には取扱説明書を熟読し、充分に理解して分解・組立作業をおこなってください。 ・ 電磁弁の構造と作動原理を理解して、安全性が確保できる知識が必要です。

⚠ 注意	a) 電源の電圧および交流・直流を確認してください。 b) 他の制御機器からの漏れ電流による誤作動を避けるため、漏れ電流の確認をしてください。 ・プログラマブルコントローラ等の制御機器を使用する場合に、制御機器からの漏れ電流が影響して、電磁弁が誤作動する場合があります。 ・本製品をご使用の際には、他機器からの漏れ電流を下表以下にしてください。

定格電圧	漏れ電流
AC100V	6mA以下
AC110V	5．7mA以下
AC115V	5．5mA以下
AC200V	3mA以下
DC12V	2mA以下
DC24V	1mA以下
ダイオード内蔵AC100Vコイル	2mA以下
ダイオード内蔵AC200Vコイル	1mA以下



(1) 電気設備の保全

・電気設備の保全のために、制御回路側にはヒューズ等の遮断器をご使用ください。

(2) リード線タイプの結線方法

・配線用電線は、目安として公称断面積0．5mm^2 以上をご使用ください。

リード線には無理な力が加わらないようにしてください。

コイルについては、DC 電圧でも極性はありません。

(3) DIN端子箱タイプの結線方法

この項は、DIN端子箱付きの製品に適用します。(図2参照)

① キャブタイヤコードは外径φ6～φ10、公称断面積0．75～1．5mm^{2}のものを
ご使用ください。

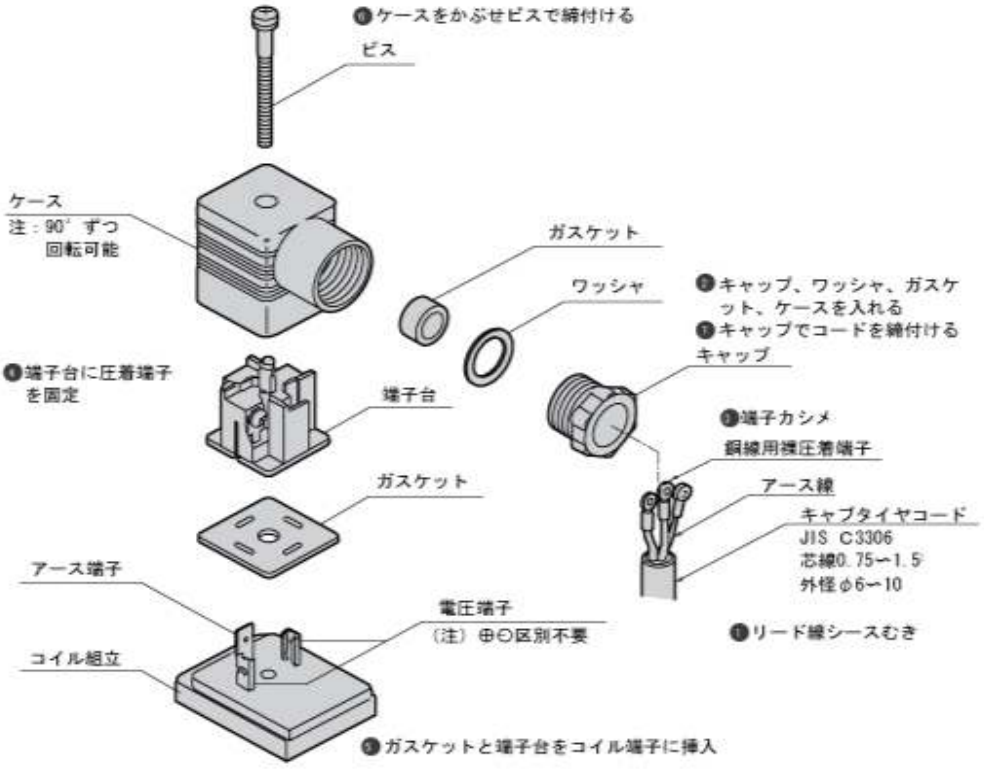
② キャブタイヤコードをキャップ、ワッシャ、ケースに通してください。

③ キャブタイヤコードのリード線に銅線用圧着端子を挿入して、端子カシメをしてください。

④ 端子カシメされたリード線を端子台の端子ねじに固定してください。
アース線は端子台のアース端子へ接続してください。

⑤ 端子台にケースをかぶせて、ビスで締め付けしてください。
ケースは90°毎の方向へ取り付けが可能です。

⑥ ガスケット、ワッシャを入れてから、キャップをケースへ締め付けしてください。



(図2)DIN端子箱の結線方法

(4) HP端子箱タイプの結線方法

この項は、HP端子箱付きの製品に適用します。(図3参照)

①配線用電線は、公称断面積0．5mm^{2}以上のものをご使用ください。

②配線用電線を端子箱本体に通してください。

③配線用電線のリード線に銅線用圧着端子を挿入して、端子カシメをしてください。

④端子ねじを締付トルク0．5N･mで締め付け、固定してください。
なお、HP端子箱の端子への配線はランプ付･DC電圧の場合に(＋)(－)の極性がありますので、表2に基づいて配線してください。

＜配線図＞
2本リード線の場合

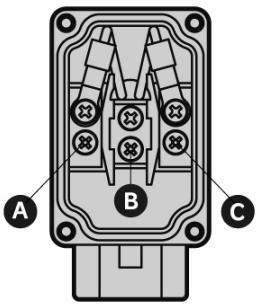
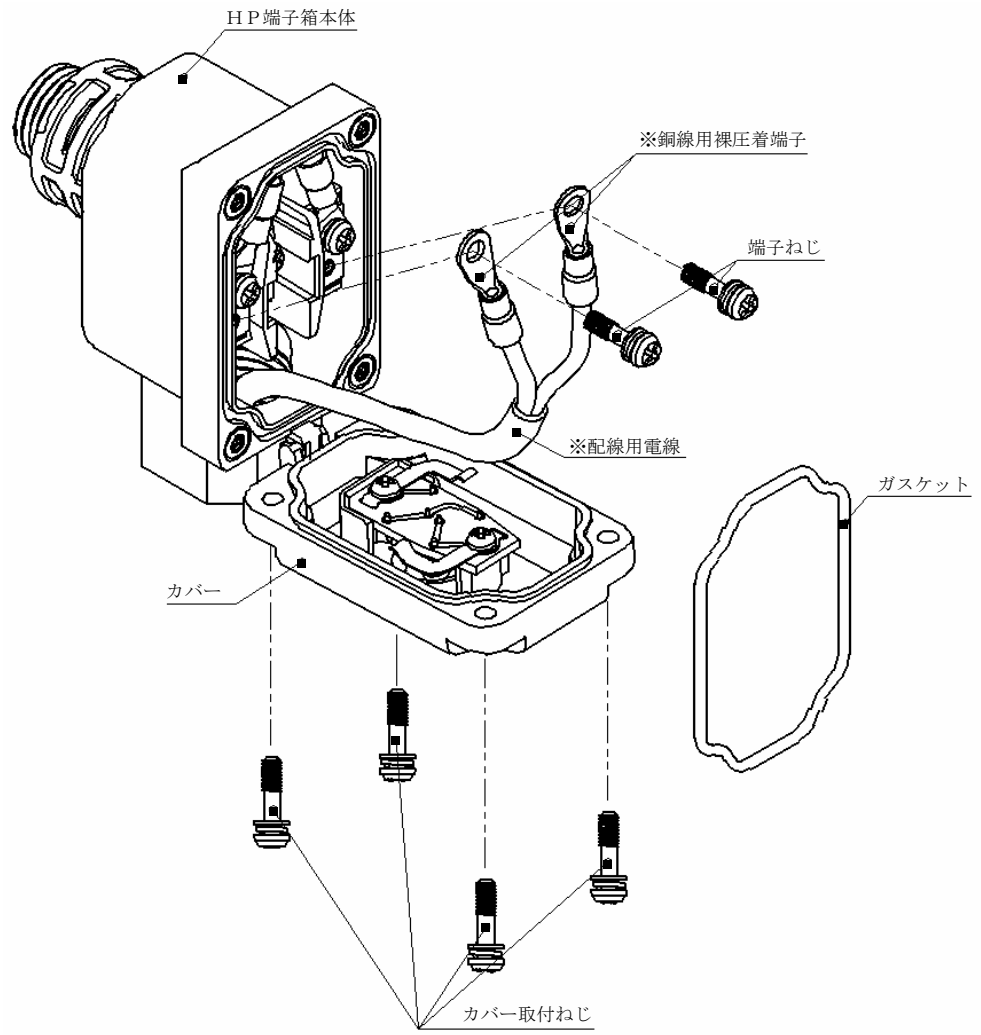


表2. HP端子箱の端子と外部導線の配線方法

HP端子箱の種類	外部導線と端子の接続
ランプなし HP端子箱	HP端子箱のA端子とC端子へそれぞれ配線してください。極性はありません。
ランプ付HP端子箱 ･AC電圧	
ランプ付HP端子箱 ･DC電圧	ランプ部に極性があるため、端子箱のA端子に(－)極、C端子に(＋)極を配線してください。

⑤配線完了後、ガスケットが正常に組み付けされていることを確認し、カバーをして、カバー取付ねじを締付トルク0．5N･mで締め付けしてください。



※印の部品は当社の製品には含まれておりません。

(図3)HP端子箱の結線方法